

秋の健康促進運動イベント（バドミントン）

スローガン促進委員会の健康促進イベントとしてバドミントン&BBQ大会を瀬野川公園の小体育館にて行いました。

ルール

①2人1チームのダブルスで4チーム
②11点3セットマッチ
③総当たり戦→勝ち抜けトーナメント

また、勝ち抜けトーナメントを負けたものからBBQの準備に取り掛かり、1位になったチームはBBQでは食べるだけという極悪非道のルールも追加しました。

チーム分け

チームA K部長・Y林
チームB K林・T下
チームC O下・K鷹
チームD H本・S本

チーム分けは公平にくじで行い、となりました。約1チームほど、組まれた瞬間に不安を覚えるチームもありましたが・・・笑
若手と中堅がうまく分かれたチーム編成となりました。
総当たり戦の結果は、

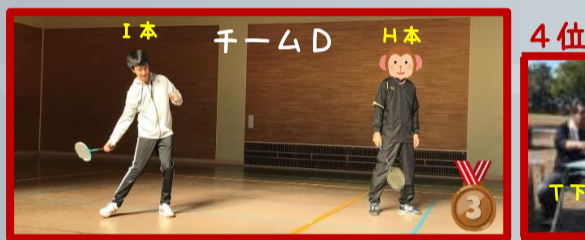
試合結果

チームA	3勝0敗
チームB	0勝3敗
チームC	2勝1敗
チームD	1勝2敗

ここから本番の勝ち抜けトーナメントが行われます。
まずは、チームBとチームDが対戦！
チームBが善戦するも、ゲーム終盤T下さんの腰が悲鳴を上げ、あえなくチームBが敗退。腰をさすりながらBBQの準備へ・・・
次に、チームCとチームDの対戦！
十分に休息をとり体力MAXのK鷹に成すすべくなく、チームDが敗退。H本さんは審判として残り、I本君はタッシュでBBQ準備へ・・・
頂上決戦となった、チームAとチームCが対戦。
テュースまでもつれ込む大接戦の末に、チームCが勝利。
最終的に、**チームCが優勝**。
第一回テンサンバドミントン大会は幕を閉じました。

BBQでは、K林さんがBBQ道具一式を持ってくるという気合の入れよう。
しかし、気合を入れすぎたのかイスの一部が燃えるというホヤ騒ぎが・・・。
K部長の野生の感で間髪を置かぬところどころでなんとか鎮火。皆様も火の扱いにはご注意ください。

天候に恵まれ、気温もそれほど低くなくとても気持ちいい陽気の元、最高のBBQを行うことができました。
今回も、皆様のご協力もあり無事終了いたしました。



今後も様々な企画を立てていきますので、予定が合えばお気軽にご参加ください。



親睦会



スポ記事 まちなかスタジアム



記事担当：東京親睦会幹事

【広島市以外在住の方へ】
寄附金の使い道で「サッカースタジアムの建設」を選択していただく納税をしましょう。
ふるさと納税のメリットは所得税や住民税から控除・還付、使用用途が指定できる、広島市のHPへ氏名掲載。
【広島市以外在住の方へ】
寄附金の使い道で「サッカースタジアムの建設」を選択していただく納税をしましょう。
ふるさと納税のメリットは所得税や住民税から控除・還付、使用用途が指定できる、返礼品、広島市のHPへ氏名掲載。
すこし暑さも和らいできたかなと思いきや、まだまだ暑くなったりという気候の中、9月6日東京オフィスの暑気払い食事をを行いました。
店は「バリバリ鶏 新宿西口本店」という鶏料理が名物のイタリアン。一番の名物メニューは「ロティサリーチキン(鶏一羽)」
(「これ、すこおいいいです。」)
参加人数は、まいどまいど寂しいですが、1人欠席で5人でした。
全員参加でも6人ですから寂しい限りです。(福岡オフィスから何か言われそうです)
東京オフィスのメンバーは飲みより食いが中心なのでコース料理+飲み放題というパターンだと、料理が物足りなく感じてしまうので、今回は思い切って、席だけを予約して好きなものをオーダーすることにしました。
これが当たりで、メニューを見ながら好きなものを腹いっぱいになるまでオーダーし、結果として「腹いっぱい」という幸せを感じる暑気払いでした。



一回、5万円以上寄付された方は、新スタジアムへ芳名板が掲出されます。これは一生、いや未代まで、スタジアムが存続する限り掲出されるハズです。
俺のスタジアムと言っても問題ありません。既に弊社社員で5万円以上寄付されている方もいます。
当然私も2023年まで毎年5万円を寄附します。2019年は自分の名で、2020年は妻の名で、2021年は子供の名で、2022年は会社名で。芳名は寄附者名で無くても良いそうです。
さいたまスタジアムや吹田スタジアムに行かれた事がある方は、ご存じかと思われると思いますが、寄附者の芳名板が掲出されています。凄く素敵な事だと考えます。もちろん寄附は5万円以下でも、全然OKです。

記事担当：スポ記事担当

広島のサッカースタジアムの移転問題に関しては、具体的検討され初めたのがサンフレッチェがJ1初制覇した翌年2013年で、多くのファンが希望する中心市街地近隣の遊休地に移転先計画が落ち着いたのが今年の2月のことでした。(サッカースタジアム建設については、15年以上前から声がありました)しかし、サンフレッチェからは、「これで決まったぜ!」と感じている人は少なく、これまでの対応に誠意が感じられなく「また我々は何も手にしていない」、「建てる建てる詐欺にならないか」と不安を感じている人が多数でした。
そんな中、先日、2024年開業予定のサッカースタジアムの建設寄附募集を10月1日から「ふるさと納税制度」を用いて広島市が開始しており、その寄附金額が開始1カ月で1億円(約2100件の大台を突破)した事が報道されました。
募集期間の2019年10月〜2023年3月に設定していた目標金額が1億円ですので、これほど短期間に多くの寄附申請が出が得られるのは、「まちなかスタジアム」への賛同、期待の大きさを示すものと考えられます。
一説によると、サンフレッチェや他でも寄附の募集をしており、併せると2億円を突破しているのではないかと話もあります。
しかしサッカースタジアムの総事業費が190億円ともいわれられており、toto助成金の35億を足してもまだまだ道半ばといった状況です。建設費の大部分は地元財界および個人からの寄附金で調達し、不足分は市債発行で調達すること。但し、この市債調達分もサンフレッチェのクラブチーム自身が市から施設全体の管理者指定を受けることで、施設運用収益の中から生まれる納付金で市債償還分を補填するというスキームで、実質的には税金投入はない開発を目指しているそうです。
という訳で、みなさん寄附のご協力をお願いいたします。